

日本にモノづくりを残していけるのか

講演会・工場見学会

# これからのモノづくりと経営者への



2024年2月16日(金) 10:00-17:00  
マツダ株式会社 広島本社  
広島県安芸郡府中町新地3-1 (向洋駅徒歩5分)

# メッセージ2024 広島 HIROSHIMA

現場発信のDX

日本の競争力

働きがいのある職場

本企画の趣旨

- ◆ 現在、日本の製造業を取り巻く環境は、国内・外の多岐にわたる問題・課題と、それらが複雑化し、簡単には解決できない現状から、「日本にモノづくりを残していけるのか」という危機感が募っている
- ◆ この日本の状況に対し、これまでさまざまな困難を乗り越え、日本の製造業の発展に貢献してきた実績ある経営者が、「従前の日本のモノづくりを振り返る」とともに、「現在の日本のモノづくりの問題・課題に対する考え方・展望」を語る
- ◆ **マツダ株式会社 代表取締役会長 菖蒲田 清孝氏** には、これからの日本のモノづくりについて基調講演として講演をいただき、**同社 執行役員 向田 光伸氏** には、マツダ株式会社の具体的な取組みについて講演いただく
- ◆ さらに、講演後は、**マツダ株式会社の工場見学** をとおして、具体的な取組みをより実感していただく企画となっている
- ◆ また、**トヨタ自動車株式会社 エグゼクティブフェロー 河合 満氏** (公益社団法人日本プラントメンテナンス協会会長)には、現場発信のDXの取組みについて講演いただく

## 日本の製造業に取り巻く問題・課題

- 労働力人口減少
- 若者の製造業離れ
- 熟年技能者の減少
- 技術・技能の伝承
- 設備の高経年化
- DX化の急速な革新
- 設備の自動化・高度化
- カーボンニュートラルへの対応
- 海外企業の躍進

講演プログラム

09:30 ~ 10:00	開場・受付開始
10:00 ~ 10:05	開会・案内
10:05 ~ 10:35	<p><b>オープニング講演</b></p> <p>「トップが語るモノづくり現場発信のDXの取組み ～買うDXから自ら作るDXへ～」</p> <p>公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会 会長 (トヨタ自動車株式会社 エグゼクティブフェロー)</p> <p>河合 満氏</p>
10:35 ~ 12:05	<p><b>基調講演</b></p> <p>「これからの日本のモノづくりをリードする皆さんにお伝えしたいこと」</p> <p>2022年度 中嶋・鈴木賞* 受賞 * TPM・設備管理の普及・発展に大きく貢献し多大なる功績をあげた経営者層の方を対象とし、表彰するものです</p> <p>マツダ 株式会社 代表取締役会長 菖蒲田 清孝氏</p>
12:05 ~ 12:50	昼食(お弁当をご用意)
12:50 ~ 13:50	<p><b>事例紹介講演</b></p> <p>「環境変化への適応、働きがいのある工場をめざした、モノづくりの進化」</p> <p>マツダ 株式会社 執行役員 グローバル生産担当 向田 光伸氏</p>
13:50 ~ 16:15	<b>マツダ工場見学</b> (休憩・移動時間を含む)
16:15 ~ 17:00	<b>ディスカッション</b> (交流時間を含む)
17:00	閉会

## 「トップが語るモノづくり現場発信のDXの取組み ~買うDXから自ら作るDXへ~」

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会  
会長  
(トヨタ自動車株式会社 エグゼクティブフェロー)

河合 満 氏

今、日本のモノづくりは、IoT・ICT・AI・DXの急速な導入・展開により大変革を迎えている。このうちDXの活用は、メーカーに頼るばかりでなく、現場の知恵とくふうを取り入れた、言わば「現場発信のDX」の取組みが見られるようになってきた。このDXに関わる現場の取組みから製造業の今をお話させていただく。



経 歴			
1966年 3月	トヨタ自動車工業株式会社 入社	2016年 6月	公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 副会長
2005年 6月	トヨタ自動車株式会社 基幹職1級 本社工場鍛造部部長	2017年 4月	トヨタ自動車株式会社 執行役員 副社長
2007年 7月	トヨタ自動車株式会社 理事 本社工場鍛造部部長	2020年 4月	トヨタ自動車株式会社 執行役員 Chief Monodzukuri Officer 兼 Chief Human Resources Officer
2008年 1月	トヨタ自動車株式会社 理事 本社工場副工場長	2021年 1月	トヨタ自動車株式会社 Executive Fellow
2013年 1月	トヨタ自動車株式会社 技監	2022年 6月	公益社団法人日本プラントメンテナ ンス協会 会長

### 基調講演

## 「これからの日本のモノづくりをリードする皆さんにお伝えしたいこと」

マツダ株式会社  
代表取締役会長

菖蒲田 清孝 氏

“高品質の製品を低コストで提供する”という人々の意識”と、それを“裏付ける技術と技能”で国を豊かにしてきた日本のモノづくり。時代は、効率や生産性から、心の満足や精神的な豊かさを求める時代へと変化していきます。日本のモノづくりが競争力を発揮し続けるために何が必要か、皆さまと考えていきたいと思ひます。



2022年度 中嶋・鈴木賞\*受賞  
\*TPM・設備管理の普及・発展に大きく  
貢献し多大なる功績をあげた経営者  
層の方を対象とし、表彰するものです

経 歴			
1982年 3月	マツダ株式会社 入社	2010年 4月	執行役員 生産担当、技術本部長、 コスト革新担当補佐
2003年 6月	車両技術部長	2013年 6月	常務執行役員 グローバル生産・グ ローバル物流担当、技術本部長
2006年 4月	防府工場 副工場長	2016年 6月	取締役 専務執行役員 品質・ブラン ド推進・生産・物流統括
2008年 4月	執行役員 オートアライアンス(タイラ ンド)CO., Ltd. 社長	2017年 4月	取締役 専務執行役員 品質・ブラン ド推進・購買・生産・物流統括
2010年 4月	執行役員 技術本部長	2021年 6月	代表取締役会長

### 事例紹介講演

## 「環境変化への適応、働きがいのある工場をめざした、モノづくりの進化」

マツダ株式会社  
執行役員 グローバル生産担当

向田 光伸 氏

激変の時代、モノづくりの価値は大きく変化している。マツダは、日本のモノづくりの伝統である維持管理と改善を大切にしながらも、DXやCNなど環境変化への適応をすすめて、働きがいのある工場の実現をめざしている。全員参加のアプローチと若手人材育成を基盤とした活気ある職場づくりを通じた、モノづくりの進化を紹介する。



経 歴			
1989年 4月	マツダ株式会社 入社	2018年 4月	本社工場副工場長
2013年 3月	ASEAN パワートレイン生産準備室 副室長	2020年 4月	本社工場長
2014年 4月	マツダパワートレインマニファクチャ リング(タイランド)Co.,Ltd.上級副社長	2022年 4月	執行役員 グローバル生産担当
2016年 4月	マツダパワートレインマニファクチャ リング(タイランド)Co.,Ltd.社長兼CEO		



◆ 2024年2月16日(金) 10:00 ~ 17:00

◆ マツダ株式会社 広島本社

(〒730-8670 広島県安芸郡府中町新地3-1)

アクセス : JR山陽本線・呉線 向洋駅より徒歩5分



- 向洋(むかいなだ)駅は、普通列車のみ停車します(快速列車は停車しませんのでご注意ください)
- 広島本社ロビー(1階)にて受付後、会場へご案内いたします
- 受付時間は、9:30~10:00の間となります

- ◆ 本企画には、**工場見学** がございます
- ◆ 講演でお話しいただいた具体的な活動をはじめ、さまざまな取り組みを紹介いただく企画となっています
- ◆ マツダ 株式会社の **活気ある職場づくり**、**モノづくりの進化** を、ぜひ、実感ください  
※ ご参加者には、工場見学の注意事項を2024年1月末にご案内いたします
- ◆ 工場見学後は、**ディスカッション** の開催を予定しています
- ◆ ご講演内容や工場見学を通じての質疑応答のお時間としてご活用ください

## ◆ お申し込み方法

お申込みは、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会ホームページ内イベントサイトよりお申込みください

<https://info-jipm.jp/event/>

**お申込みは、2024年1月12日(金)締め切り**

※ ただし、定員(40名)到達時点で締め切らせていただきますので、お早目のお申込みをお願いいたします



- 派遣窓口ご担当者、および参加者が「参加申込み規定」に同意したうえで、上記WEBサイトよりお申込みください。FAXでのお申込みはできません
- お申込みの際は、お申込みWEBサイトに記載の注意事項の内容をよくご確認のうえお申込みください
- 開催日2週間前より派遣窓口ご担当者あてに請求書を送付いたします。2024年3月末日までに、請求書に記載の銀行口座にお振込みください。なお、振込に関わる手数料は貴社にてご負担ください
- キャンセル規定  
開催当日~7日前の参加取消し : 参加料全額  
※ 2024年2月9日(金)よりキャンセル不可となります  
※ キャンセル・変更は、以下URLよりお願いいたします。  
<<https://info-jipm.jp/contact/>>  
お問い合わせ > イベント申込み後のお問い合わせ

- 個人情報に関する取り扱いについて  
ご記入いただいた個人情報は、当大会の運営・管理・資料送付、出欠の確認等に利用いたします。また、後日、大会より事業・サービス・セミナー等のご案内を送付させていただく場合がございます。当会は、ご提供いただいた個人情報を当会のプライバシーポリシーに則って安全対策を施し適切に管理いたします。当会のプライバシーポリシー、個人情報の開示・訂正・削除等の詳細につきましては、当会ホームページ(<https://www.jipm.or.jp/>)をご覧ください

## ◆ 参加料(税込み)

会員価格 <sup>*1</sup>	¥38,500-/名
一般価格	¥49,500-/名
TPM経営者懇話会会員 <sup>*2</sup>	ご招待

会員以外の方は、  
この機会にぜひ当会会員へのご入会をご検討ください

- 参加料には、昼食・テキスト(資料)代が含まれています
- ※1) 会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会(正会員・事業所会員)、もしくは一般社団法人日本能率協会(法人会員・協賛団体会員)の会員であることが必要です  
会員ご入会の有無は、下記WEBサイトにてご確認ください  
・ 公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会  
<<https://www.jipm.or.jp/company/memberlist/>>  
・ 一般社団法人 日本能率協会  
<<https://list.jma-member.com/>>
- ※2) TPM経営者懇話会会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 経営者懇話会の会員であることが必要です  
TPM経営者懇話会会員の詳細は、次項をご参照ください

- 免責事項  
天災地変や伝染病の流行、大会会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の当会が管理できない事由により大会内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、当会ではその責任を負いかねます

## TPM経営者懇話会とは

TPM経営者懇話会は「設備管理、人材育成、新技術活用」などに関する経営上の課題を認識し、克服するための手段について情報収集する場として1988年に発足いたしました。また、本懇話会を通じた登録者同士の交流及び情報交換を促進することも開催の目的の一つとしております。

各界の有識者による講演や、先駆的な取り組みをされる企業の工場見学など、新時代に向けた様々な視点での情報収集や、各社の現場革新・経営革新の一助となることを目指し、本懇話会を運営いたします。



### 講演会

- ◆ 時代に合った開催テーマ選定による講演会の実施

### 工場見学会

- ◆ 最新鋭の革新やTPM優秀賞受賞事業所の見学

### 交流・討議

- ◆ 講演や見学のテーマを基に、出席者同士によるGive & Takeの情報交換

### 開催テーマ例

- TPMを活用した先進事例
- DXなどの情報技術を活用した現場革新
- 設備老朽化・自動化対応・人材育成・ダイバーシティ化などの課題解決

## TPM経営者懇話会の入会特典

上記会合のほか、当会行事への無料ご招待をいたします

※ 年間登録費以上の入会特典がございますので、是非ご入会ください

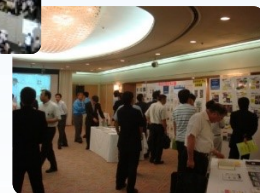
からくり改善くふう展

設備管理全国大会

優秀改善事例全国大会

改善事例発表大会  
(全国7か所の地区大会)

その他イベント  
(経営層向け講演会など)



## ご入会方法

入会資格	本会の趣旨に賛同される産業界各社の経営幹部、もしくはそれに準ずる方 (取締役・執行役員・生産、設備管理の全社責任者の方など)
会費	年間登録費 (当該年度の4月～翌3月の1年間) ● 当会正会員・事業所会員企業の方 ：38,500円(税込み) ● 当会会員外企業の方 ：77,000円(税込み) ※ 年度途中の入会も可能です。事務局までご相談ください ※ 行事ごとの交通費・宿泊費等は別途ご負担いただきます ※ 会合により、別途会費を徴収する場合がございます
入会方法	ご入会を希望される方は、 公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 普及推進部までお電話ください

## 公益社団法人日本プラントメンテナンス協会について



会長  
トヨタ自動車株式会社  
Executive Fellow  
河合 満

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 (Japan Institute of Plant Maintenance=JIPM) は、1969年に日本能率協会内の「設備管理部会」を改組した日本プラントエンジニア協会として発足後、1981年に通商産業省の許可を得て社団法人として設立され、2012年には内閣総理大臣認定の公益社団法人へ移行しました。

当会は設立以来、設備管理に関わるわが国唯一の公益法人として、TPM (Total Productive Maintenance)、機械保全技能士、自主保全士、からくり改善などを中心に、人材育成、資格認定、調査研究、審査表彰等の事業を通じて、モノづくりに欠かすことができない設備管理・保全とそれを支える人材の育成や生産性の向上を支援し、安心、安全、安定の生産活動・保全活動の促進および品質の安定・向上に寄与するべく活動を行っております。